

# 取扱説明書

1-7534-01

PET デシケーターオートドライジャンボ

SP - WPT

お買い上げ有り難うございます。

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠に有り難うございます。  
本製品をより安全に、また、良好な状態でご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

また、製品を末永くご使用いただくために、この「取扱説明書」は大切に保管してください。  
本品を譲渡・貸与される時には、新しい使用者が安全な正しい使い方を知るために、この取扱い説明書を、製品本体と共に必ずお渡しください。

 **アズワン株式会社**

## 安全上のご注意






この取扱説明書では製品を安全に、正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願い申し上げます。

### 各警告表示の定義

 <b>警告</b>	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。	 <b>お願い</b>	安全を確保するために注意が必要な事項。
 <b>注意</b>	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。		








いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

### 安全確保の図記

	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項		特定しない一般的な使用者の行為
	分解及び改造により感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止		機器の特定の場所に触れると傷害が起こる可能性がある場合の禁止
	感電の危険性の注意		

### <設置上の安全に関する注意>



製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

 <b>警告</b>	
	・60℃以上の高温物体（乾燥機等）に近接しないところでご使用下さい。本体が変形する恐れがあります。
	・除湿性能低下の原因になりますからユニットのスリット開口部を密閉状態にならないよう、3cm 以上離してください。 ・スリット部に直接水滴や薬品が入らない所に置いて下さい。
 <b>注意</b>	
	・水平で安定したところでご使用下さい。本製品が転倒したり、収納物が、転倒、落下する恐れがあります。 ・直射日光のあたらないところでご使用下さい。K-APET-BR プレートが、変色、変形、劣化する恐れがあります。
 <b>お願い</b>	
	・設置の際は必ずキャスターのストッパーをかけてください。
お願い	・扉の取手は輸送時の破損防止のため、内側に取り付けております。ご使用前に取手を一旦取り外し、外側から取付けなおしてください。

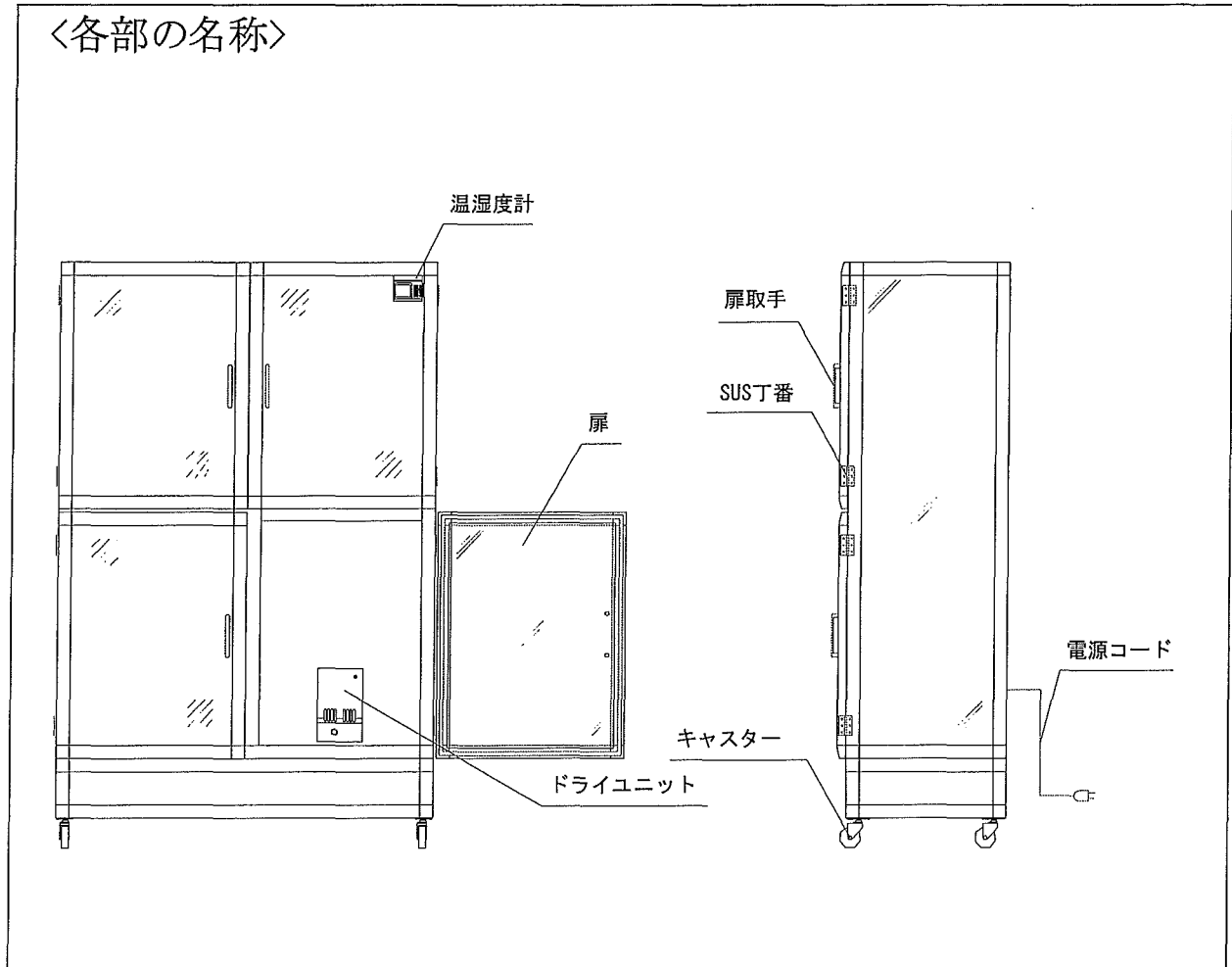
※この製品を、屋外で使用することは避けてください。

<使用上の安全に関する注意>

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品の上に乗ったり、棚板に足をかけたりしないで下さい。転倒したり、破損したりして、ケガをする恐れがあります。</li> <li>・除湿性能が低下しますから、シリコン系シール接着剤のようなシリコン系のガスを発生する物の収納や、設置雰囲気は絶対に避けてください。</li> <li>・有機溶剤及び有機性ガスの発生する物質の収納は本体 K-APET-BR の劣化や除湿性能を低下させますから、避けてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・濡れた手で電源コードの抜き差しを行わないで下さい。感電の恐れがあります。</li> <li>・電源コードや指し込みプラグが傷んだり、コンセントの指し込みがゆるい時は、使用しないでください。ショートや感電の恐れがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品の大部分は K-APET-BR 製です。本製品を乱暴に扱うと、破損してケガをする恐れがありますから、丁寧に扱ってください。</li> <li>・扉の開閉はゆっくり行ってください。乱暴に扱えば破損してケガをする恐れがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグは奥までしっかりと差し込んで下さい。不完全な差し込みのまま使用すると、プラグが発熱して火災の原因となる場合があります。</li> </ul>
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納物を入れたまま、本製品を移動させないで下さい。振動により、収納物が転倒や落下したり、棚板が落下する恐れがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品は、酸類（塩酸、クロム酸、硝酸、硫酸等）・有機溶剤（アセトン、キシレン、クロロホルム、アルコール、酢酸等）に侵されますから、これらの薬品の接触をさけてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚受レールはしっかりと取り付けてください。取付が不完全ですと、棚受が外れたり、棚板が落下する恐れがあります。</li> <li>・長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。又、電源プラグを抜く時は、コードを持たずに抜いてください。</li> </ul>

 注意	
	<p>以下の表に分類されている物質を発生させる物を収納・保管したり、近づけたりしないでください。</p> <p>また、これらの雰囲気となる様な環境で本品を使用しないでください。 除湿機に悪影響を及ぼし、性能を低下させる原因となります。</p>

ガス状物質	
無機系	有機系
塩素ガス 塩酸ガス (HCL) 亜硫酸ガス NOX ガス (NO <sub>2</sub> )	シロキサンガス (有機シリコンガス) シリコン系シール材、パッキン、グリースより発生  気化性防錆材ガス 気化性防錆剤より発生  アミン系ガス (高濃度) ジエチルアミン、その他  煙草の煙 タール成分の付着が悪影響  塩素系防虫剤 パラジクロロベンゼン  油煙、油ミスト 主に、機械工場が発生し、多量に付着した場合
液状物質	
無機系	有機系
塩酸 (高濃度) 硝酸 (高濃度)	塩素系溶剤 塩化メチレン、トリクレン、パークロロエチレン  硫黄系有機溶剤 ジメチルスルホキジド



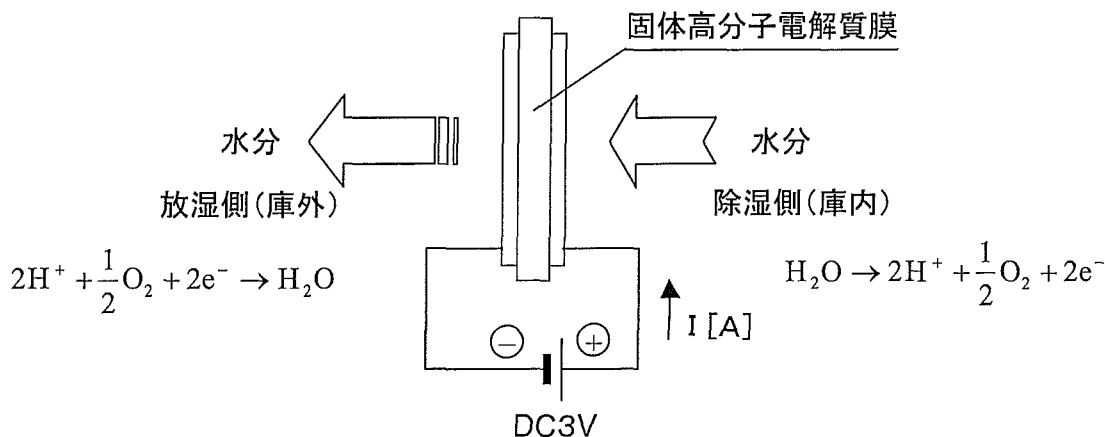
PET デシケーターオートドライジャンボ SP-WPT

## 〈使用方法〉

- ・扉板の破損防止の為、取手を内側に取付けてありますので、外側に取付けなおしてください。
- ・電源コードをAC100Vのコンセントに差し込んで下さい。
- ・湿度調節つまみをまわして任意の位置にあわせてから扉を閉めてください(つまみの数字は庫内の湿度とは関係ありません。より除湿を必要とするほど小さい数字にしてください)。
- ・除湿が不要の時は電源コードを抜いて下さい。(電源OFFのスイッチはありません。)
- ・除湿運転時には、ユニット右上のランプが点灯します。湿度調節つまみで設定した湿度に達しますと、ランプは消え、除湿運転が停止します。再び湿度が上昇するとランプが点灯し除湿運転を開始します。

## <ドライユニットの原理>

デシケーター本体に組み込んだドライユニットは、固体高分子電解質膜に、多孔性電極をつけ、直流電圧 3V を印加することにより、陽極側の湿気は、水素イオン (H<sup>+</sup>) と酸素に分解され、水素イオンは固体高分子電解質膜を通過して、陰極側で空気中の酸素と反応して水分子 (気体) となり放出されます。



## <ドライユニットの性能>

- ・ドライユニットには、一般の除湿装置のように乾燥剤、ファン、又はヒーター等は一切使用しておりません。そのため、駆動部や熱による物理的なトラブルは有りません。メンテナンスフリーでご使用いただけます。
- ・デシケーター内の湿気は、気体の状態で外部に放出されますから、水滴が出ません。
- ・省エネルギータイプで、消費電力は平均 5W 程度です。
- ・除湿は連続的に行いますが、急激な除湿はできませんから、密閉状態での除湿開始後、安定するまで約 24 時間程度をお考えください。
- ・自己制御機能を有し、除湿に応じて消費電力を自己制御します。

## <お手入れについて>

清掃は、お湯又は水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。

取れにくい汚れは、中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭きとってください。

### ⚠ 注意



・有機溶剤、クレンザー (磨き粉)、シンナー、灯油、酸等、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

## &lt;仕様&gt;

SP-WPT	
外寸 mm (突起部含まず)	W1152×D517×H1770
本体材質	フレーム : アルミ型材 耐食アルマイト処理 コーナー : ABS 樹脂成形品 扉板・側板 背板・底板・天板 : *K - APET - BR プレート 扉 丁 番 : SUS430 扉 取 手 : 亜鉛合金、サチライトクロムメッキ コーナー 棚 柱 : SUS430 扉 当 た り : SUS430 正面・背面支柱 : SUS430 キ ャ ス タ ー : ナイロン車輪 (内 2 つストッパー付き)
棚板	寸法 mm : 490×460×15 材質 : スチロール+ハイインパクトスチロール 成形品

※容器包装リサイクル法の施行により指定法人のもとで回収・再資源化されたリサイクルペットボトルを中心とした再生原料を 100%使用したプレートです

第 1 版 2005 年 8 月作成



■商品についてのお問い合わせは  
 カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875

F A X 0120-700-763

e-mail q@so.as-1.co.jp

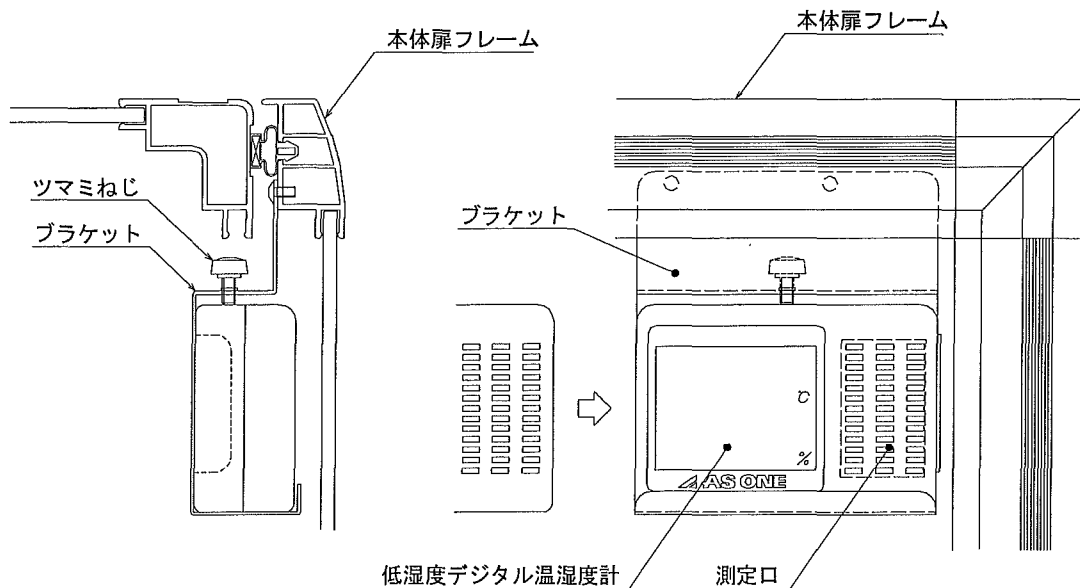
受付時間 : 午前 9 時~12 時、午後 1 時~5 時 30 分  
 土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません

## ＜低湿度デジタル温湿度計の取付け方法＞

- 本体扉枠に取付けられているブラケットに、下図を参考にして取付けてください。
- ブラケットを外さなくても温湿度計を脱着することが出来ます。
- ブラケットのストッパーに当たるまで温湿度計を押し込み、測定口がブラケットにかぶらないようにしてください。
- ブラケットに温湿度計がセットできたら、ツマミねじで固定してください。  
※ツマミねじは軽く締めるだけで結構です。強く締め付けますと温湿度計の外装が破損する恐れがあります。
- 電池を交換する際は、ツマミねじを緩めて温湿度計を取り外してください。

### ■ 輸送上の注意

デシケータおよび低湿度デジタル温湿度計の移動または輸送を行われる場合は、必ず低湿度デジタル温湿度計をデシケータより取り外し、最初にお届けした梱包材料をご使用ください。



(ご参考)

※ 低湿度デジタル温湿度計はデシケータ棚板上に据置きでもご使用になれます。